

# 「子どもたち、お年寄りが安心して 生きる喜びを分かち合える市」へ

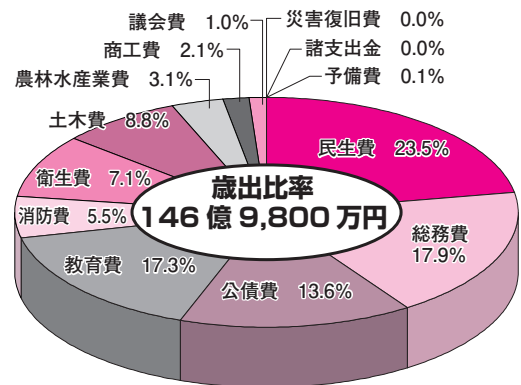
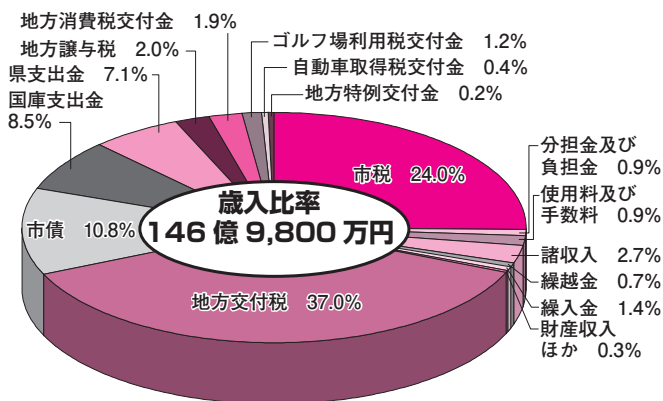
## 3月定例会

平成22年第1回行方市議会定例会は、3月4日から23日までの20日間の会期で開催しました。

初日に市長の所信表明が行われたほか、本会議では、平成22年度予算案や条例改正案など40件が市長から、また、平成22年度一般会計予算に対する附帯決議案1件が議員から提出され、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

# 一般会計予算 約147億円を可決

平成22年度 一般会計 146億9,800万円



〔歳出の性質別の比率は、主なもので人件費22.9%、公債費13.6%、物件費15.0%、補助費等11.9%、扶助費11.3%となっている。〕

## 第1回定例会の経過

〔3月〕

4日 本会議

・開会

・会期の決定

・諸般の報告

・市長の所信表明

・議案の上程、説明、

質疑、討論、採決（専

決処分・人事・条例

改正）

・議案の上程、説明、

質疑、常任委員会付

託（条例改正、指定

管理者）

5日 本会議

・議案の上程、説明、

質疑、討論、採決（補

正予算）

・議案の上程、説明（平

成22年度予算）

・教育厚生委員会

・付託案件審査

6～7日 休会

8日 本会議

・一般質問（3議員）

9日 本会議

・一般質問（3議員）

10日 休会（議事整理）

11日 本会議

・質疑（平成22年度予



# 5つの基本方針

## 予算特別委員会による徹底審査

平成22年度の予算は、議長を除く23名で構成する『予算特別委員会』に付託し、3月12・15・23日の3日間にわたり審査を行いました。委員会では、詳細かつ効率的な審査を行うため、さらに2つの分科会に分かれました。(各分科会の審査分野は次のとおり)

- 徹底した行財政改革
- 徹底した現場主義
- 選択と集中による事業の重点化 (なめがた活力プラン)
- 後年度への負担転嫁の回避
- 国の動向の的確な把握と対応

- 第1分科会：議会議務局、総務部、会計課、保健福祉部、教育委員会
  - 第2分科会：経済部、農業委員会、建設部、水道課
- 委員会の審査でありました主な質疑について、一部要約して4～5ページでお知らせします。

# 重点的施策を着実に進める

		本年度予算額	前年度予算額	前年度比増減額	前年度比増減率	
一	一般会計	146億9,800万円	142億1,000万円	4億8,800万円	3.4%	
特別会計	国民健康保険	49億5,840万円	50億1,130万円	△5,290万円	△1.1%	
	老人保健	1,500万円	1,330万円	170万円	12.8%	
	介護保険	保険事業勘定	27億8,980万円	24億8,620万円	3億360万円	12.2%
		介護サービス事業勘定	720万円	680万円	40万円	5.9%
	後期高齢者医療	3億1,920万円	3億1,920万円	0円	0.0%	
	農業集落排水事業	3億3,990万円	7億1,220万円	△3億7,230万円	△52.3%	
	特定環境保全公共下水道事業	5億7,170万円	3億1,650万円	2億5,520万円	80.6%	
	流域関連公共下水道事業	3億7,820万円	3億8,590万円	△770万円	△2.0%	
水道事業会計	収益的	7億9,750万円	7億9,670万円	80万円	0.1%	
	資本的	2億7,200万円	8億2,480万円	△5億5,280万円	△67.0%	
合計		251億4,690万円	250億8,290万円	6,400万円	0.3%	

平成22年度各会計予算

- 算) 予算特別委員会の設置、付託、委員の選任
- 予算特別委員会
  - ・ 正副委員長の互選、分科会の設置、委員の選任
- 12日 予算特別委員会(第1分科会・第2分科会)
- 13～14日 休会
- 15日 予算特別委員会(第1分科会・第2分科会)
- 16日 休会(議事整理)
- 17～18日 総務委員会
  - ・ 付託案件審査
- 19～22日 休会(議事整理)
- 23日 予算特別委員会
  - ・ 分科会委員長報告、質疑、討論、採決
  - ・ 本会議
    - ・ 常任委員長報告、質疑、討論、採決
    - ・ 予算特別委員長報告、質疑、討論、採決
    - ・ 議案の上程、説明、質疑、討論、採決(補正予算、附帯決議)
  - ・ 閉会中の所管事務調査
  - ・ 閉会

# どう生かされるのか?!

## 福祉・健康

**問** 平成 22 年度は緊急通報機器を 20 台購入する予定であるが、機器の設置の状況は。

**答** 未設置者で新規 32 台、更新 5 台の設置で考えている。これで未設置者は 118 件となる。

**問** 生活保護の認定後、社会復帰を促すような追跡調査等を行っているか。現在、生活保護を申請しても受給できない現状があるので、保護世帯の状況把握が必要なのでは。

**答** 受給者に対しては、常にケースワーカーが状況を把握して、自立就労ができるよう指導を行っている。

**問** 安心こども支援事業費施設整備補助金とは。

**答** 北浦保育園と竜翔寺保育園が、園舎改築、修繕を行うための補助金である。

**問** 予防接種事業の中で、インフルエンザ等の接種率はどうなのか。

**答** 予防接種助成該当者のうち約 62% が接種しており、他市町村に比べ高い接種率である。

**問** 前期高齢者（65 歳～ 74 歳まで）交付金が、前年度より約 1 億円減額になっているのはなぜか。

**答** この制度は平成 20 年度に創設され、本市の経営基準が 23% と全国平均 12% を超えているため交付されているが、平成 20 年度の過払いによって精算金が発生したためである。

**問** 国民健康保険で一般被保険者高額療養費が前年度に比べ増えているが。

**答** 平成 21 年度に医療費が約 2% 伸びている。その実績を踏まえ、予算を計上した。

## 総務・財政

**問** 預金利子や基金の運用をどう考えるか。

**答** 現在、1 年定期に預金しているが、取り崩す予定がなければ、長期の定期預金にしたいと考えている。基金管理は、有利で安全であることが大前提であるので、国債などはよく精査をした上で考えていきたい。

**問** 霞ヶ浦境界分の地方交付税はいくらぐらいか。

**答** 平成 22 年度も、平成 21 年度の 3,390 万 4,000 円とほぼ同額が交付される見込みである。

**問** 緊急雇用創出事業は、国の創出事業に見合った事業を行っているか。

**答** 趣旨に沿っているが、直接的ではない部分があるので、最低限の目的達成と推測している。市としても行政課題として取り組んでいかなければならない。

**問** 米軍再編交付金が前年度に比べ、なぜ減っているのか。

**答** 当初予算では、道路と地区集会所の予算のみを計上しているためである。今後どの事業を進めるかを検討し補正予算を行い、最終的には昨年と同じ金額の予算になる。

**問** 災害対策事業が約 50 万円であるが、災害時における財政面の対策はあるのか。

**答** 基本的には、財政調整基金を取り崩して充てることになる。災害の復興にかかる事業は起債事業となるが、その起債はほぼ全額交付税として次年度交付されることになる。

## 教育

**問** 教育バス運転委託料とは。

**答** 廃止となったコミュニティバスを、学校の事業等に利用していくのだが、運転業務をシルバー人材センターや業者に委託するものである。

**問** 教育バスの利用の範囲に部活動も入っているのか。

**答** 部活動は、現時点では利用の範囲に考えていない。自然教室、社会科体験学習、文化協会やスポーツ少年団などを利用の範囲として考えている。

**問** 中学生海外派遣研修事業、平成 22 年度の予定は。

**答** 例年 500 万円を計上しているが、平成 22 年度は、昨年インフルエンザの関係で中止となり研修の機会を

失った 3 年生を対象に 16 人増員したため、800 万円を計上した。これまでどおり 2 年生の対象は 36 人である。

**問** 麻生小学校施設整備事業の中の外溝工事委託料における用地の調整と進行計画は。

**答** 児童の安全を考慮し、歩道の確保をするためグラウンド側に拡幅して外溝設計を行う予定である。平成 23 年度に外溝工事が完了し、平成 24 年 3 月には開校の予定である。

**問** 各地区運動会の代替として何を行うのか。

**答** スポーツ人口を増やすようなスポーツイベントを行う予定であるが、1 箇所を集約しない。



予算特別委員会が  
平成 22 年度予算を斬る !!

建設・上下水道

**問** 高須崎公園管理委託料と借地料は妥当な金額か。  
**答** 予算は指定管理者の収支決算等に基づいて計上している。現在、管理方法について検討を行っている実情がある。

**問** 北浦地区の排水計画は、地元の意向に基づいて実施できるのか。

**答** 地元の意向を反映した中で決定し、事業に取り組んでいく。

**問** 平成 22 年度の道路整備は、平成 21 年度に策定した「道路整備計画」に沿っているか。

**答** 基本的な計画であるのでそれに沿っている。ただし、学校の統廃合による通学路の整備は優先していく。

**問** 道路維持補修事業費の約 1 億 800 万円という金額は財政的にどう考えているか。地元の要望も多く、住民の生活に直接関係するので、もう少し配慮を。

**答** 道路維持補修は国県等の補助の対象とならず、すべて一般財源になるが、予算措置は可能な限りの努力をしている。

**問** 特定環境保全公共下水道の認可区域の工事が終了すると、起債額はいくらになるか。

**答** 約 32 億円になる。

**問** 平成 21 年度に水道料金を値上げしたが、平成 22 年度はどうなのか。

**答** 値上げしたことで、数年は黒字になる可能性が出ているが、平成 27、8 年頃に再度の値上げが見込まれる。

私たちの税金は

環境・農林水産・商工

**問** ごみ処理手数料の歳入が、前年度に比べ約 200 万円増額となっているが、その要因は。

**答** 家庭系のごみ処理料金が増えているためと、昨年の処理料金の値上げ分が反映されたためである。

**問** 家庭で生ごみ処理を行えば、環境美化センターの処理経費削減につながると思うので、処理容器等購入費補助金を増額してはどうか。

**答** 平成 22 年度は、市民にもっと PR を行い、生ごみ処理容器の購入を啓発して、ごみの減量化に努めていきたい。

**問** 行方農産物販売促進事業では具体的にどのような取り組みを行うのか。

**答** 農産物のブランド化により、行方産農産物の知名度を上げ、農業の発展及び地域の活性化を図り、農業所得の向上につなげることを考えている。水戸やつくば、首都圏で 60 品目以上の農産物を、試食やチラシの配布などの PR を中心に、消費宣伝に取り組んでいく。

**問** 水田農業推進対策事業補助金が前年度に比べ減っている。転作達成率が 36.1%から 36.6%になったのに、補助金が減ったのはどういうことか。

**答** 前年度は国の交付金があったが、平成 22 年度はそれが削減されたためである。また、市単独の達成奨励金を廃止したためである。

**問** 白帆の湯と北浦荘を指定管理者に管理させることで財政的にどのぐらい効果があるのか。

**答** 人件費など、概算で約 5,000 万円の削減効果がある。

平成 22 年度行方市一般会計予算に対する附帯決議

- 1 依然として厳しい財政状況の下、平成 22 年度予算は改善傾向にあることが伺える。予算執行にあたり、財政健全化に向け、少ない経費で最大の効果を上げるよう、なお一層の努力をすること。
- 2 観光施設管理費において、民間に管理運営を委託することによって、財政効果が期待できるが、サービス低下にならないよう指導助言すること。

以上決議する。

附帯決議とは：議決された議案に関して付けられる、施行についての意見や要望などを表明する決議のこと。

平成 22 年度一般会計予算の可決に伴い、予算の執行に当たるとする際の議会から市への要望事項として、成案議員から附帯決議案が提出され、全会一致で可決しました。  
その内容は次のとおりです。

ひとこと申す !!  
附帯決議案

